

地域における青少年健全育成推進会議

令和5年6月27日（火）

オンライン開催

○地域活動推進担当課長

大変お待たせいたしました。ただ今から令和5年度地域における青少年健全育成推進会議を開催いたします。本日はご多用のところ、ご参加いただきまして誠にありがとうございます。私は、本日の司会を務めます東京都生活文化スポーツ局都民安全推進部地域活動推進担当課長の宮坂でございます。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、開会に当たりまして、地域における青少年健全育成推進会議会長の東京都生活文化スポーツ局生活安全担当局長、竹迫よりごあいさつをいたします。

○生活安全担当局長

皆さん、初めまして。ただいまご紹介いただきました、竹迫でございます。

委員の皆様におかれましては、平素よりそれぞれのお立場で地域における青少年の健全育成にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、心から感謝を申し上げます。

この取組を効果的に進めるには、特に各地域でご活躍されている青少年健全育成地区委員や青少年関係団体の皆様、区市町村や学校関係の皆様のお力が大変重要であると考えております。皆様とより一層連携を深めつつ、青少年の健全育成に取り組んでまいりたいと考えておりますので、今後ともご協力の程よろしくお願い申し上げます。

先ほどこの会議の親会でございます、東京子供応援協議会におきまして、近畿大学総合社会学部教授の久隆浩先生に、ゆるやかなつながりで楽しく地域活動というテーマでご講演をいただいたところでございます。私自身もこうネットワーク型というのは、これまで話を聞いたことがあったんですけれども、あんなに、工場でも活用されていることに、非常に驚きをもって、話を傾聴させていただきました。ああいった取組も入れつつ、地域での青少年健全育成活動に携わる上で、活動の担い手の確保や活動を続けていくためのポイントなど、地域活動を推進するための取組について情報共有を行えば大変素晴らしいことであると考えております。

委員の皆様からも日頃のご活動を通じて感じていらっしゃるということについて忌憚のないご意見をいただき、今後の東京都の取組に活かしてまいりたいと考えております。

本日はご多用中ご参加いただきまして、ありがとうございます。どうぞよろしく願い

いたします。

○地域活動推進担当課長

それでは、まず本日の会議の公開について申し上げます。東京都附属機関等の調査審議につきましては、原則として公開するということが「附属機関等設置運営要綱」に規定されておりますので、本日の会議は公開とさせていただきます。また、議事録につきましても同様の扱いとなります。本会議終了後、委員の皆様にご確認いただいた後、公開する予定でございますので、ご承知おきください。

それでは次第に沿って、議事を進めさせていただきます。

東京都では本会議を含めまして、地域でさまざまな取組を進め、青少年のダイバーシティの意識を高める活動の推進を行っております。画面には、私ども生活文化スポーツ局地域活動推進担当の所管する事業を図にお示ししております。

区市町村の青少年行政主管課や青少年健全育成地区委員会、学校等と連携しながら、地域における青少年健全育成活動の支援を展開しているところです。今回は、この中でも特に地区委員会を支援する事業をご紹介します。

地区委員会アドバイザー派遣は、地区委員会の皆様が活動して行く上でのさまざまな悩みを解決するために、民間のアドバイザーが考え方のヒントや取組事例を紹介し、地区委員会の皆様と意見公開をしながら一緒に考える講座です。活動を担う、新たな担い手の確保、人材育成や活動の上のヒント、新たなイベント実施のノウハウなどのテーマの中から、各地域の実情に応じたものを選択していただき、お悩みの解決に資する講演を行っております。実施方法は、講義方式やワークショップ、グループ討議方式、オンラインによる実施等で実施しております。画面は昨年度、足立区で、新たな企画づくりの進め方をテーマに実施した例です。この後、昨年度、当事業を活用いただきました区の青少年行政主管課から利用状況についてご報告いただく予定でございます。

続きまして、青少年健全育成地区委員会等推進モデル事例集です。こちらは地区委員会等が地域ぐるみで青少年を育成する取組を紹介し、今後の活動の参考としていただくものです。今年度も地域で協力の和を広げた取組を中心に、事例集の作成を進めています。事例集はホームページからダウンロードできますので、ぜひご覧ください。対象事業は昨年

度、令和四年度に実施した地区委員会の活動を始め、地域ぐるみで青少年を育成するさまざまな取組です。今年度は特に、スポーツの振興、東京 2020 オリンピックパラリンピック競技大会のレガシーを踏まえた地域活動を重点テーマとしております。指定された推薦モデルは事例集に掲載するとともに、地区委員会の研修会において、例年推進モデルの事例発表を行っております。昨年度の事例発表の様子も東京都の公式動画サイト東京動画に掲載しておりますので、こちらをご覧ください。

続きまして青少年育成ハンドブックです。東京都では青少年の健全育成に携わる方々への情報提供として、青少年育成ハンドブックを作成しております。作成にあたりましては、区市町村の皆様にご協力いただいております。このハンドブックには、青少年の現状に関する統計情報や相談機関、関連施設等の連絡先がまとめられております。

これらご説明した事業の詳細はホームページでご覧いただけます。東京都は引き続き地域で青少年健全育成に携わる皆様と一緒に取組を進めてまいります。今後ともよろしくお願いたします。以上で報告を終わります。

次に区市町村の青少年健全育成活動についてご報告をいただきます。最初に新宿区様、お願いたします。

○新宿区子ども家庭課企画係

これより新宿区の青少年健全育成活動に関する報告、地区委員会アドバイザー派遣事業について発表いたします。私は新宿区子ども家庭部子ども家庭課企画係の堤と申します。よろしくお願いたします。

新宿区では地区青少年育成委員会合同研修会において、地区委員会アドバイザー派遣事業を利用致しました。まず、新宿地区青少年育成委員会合同研修会の概要についてお伝えさせていただきます。

新宿区地区青少年育成委員会合同研修会では、新宿区内 10 地区の地区青少年育成委員会から一、二名の実行委員が集まり、今後の活動について役立つ知識の習得や情報課題の共有等を目的として研修会を行っております。例年、合同研修会の実行委員会で意見を出し合い、関心の高いテーマについて研修会を企画運営しており、研修会の内容は、施設見学会、質疑研修会、講演会などさまざまです。過去に実施した内容については記載の通りで

す。

令和四年度は新型コロナウイルスの影響もあり、合同研修会も、その実行委員会も三年ぶりの開催となりました。実行委員会では、コロナ禍により地区委員会の事業ができず、人材が離れていってしまったこと、新たな人材の確保が難しいこと、新しい日常を取り入れた新体制を整えていく方法が知りたいなどの意見が多く上がり、地区委員会活動を担う人材確保育成について地区委員会アドバイザー派遣事業を活用し、令和四年度の合同研修会として講演会を実施することとなりました。

地区委員会アドバイザー派遣事業活動の報告です。合同研修会の日時、会場等については記載の通りです。当日は 33 名の地区青少年育成委員会の方にご参加いただきました。また後日、ユーチューブ配信を活用したと報告いただいた地区もあり、広くご参加いただいたと考えています。

講演会のテーマは、「新しい日常を機に考えたい～地区青少年育成委員会の活動の魅力を仲間や地域に広げるヒント～」としました。活動してもらうためのPR方法や、コロナ禍での活動事例の共有、会議の手法を変えることで活発な意見交換ができるようにする方法など、グループワークを交えながらお話しいただきました。当日の様子はこちらです。皆さん熱心に講演を聞かれていました。講師の千葉講師には、講演後に振り返りができるよう細かく資料を作成いただき、集中できる環境を整えていただきました。また、グループワークでは 10 地区の地区青少年育成委員会の方が集まり、他地区の方と積極的に意見交換をしながらグループワークを進めている様子がとても印象的でした。

講演後のアンケートでは、千葉講師の丁寧な説明と活発なグループワークもあり、全体の評価において、ご参加いただいた皆様から評価をいただいております。

また、自由意見では次のようなご意見をいただきました。その中でも「会議の進め方、SNS等の活用方法の仕方など、明日からの活動にフィードバックしやすい普遍的なアドバイスばかりでとても良かったし、今まで自分たちの活動を見直したくなりました。」、「自分たちでできていること、これからの課題がわかった。」、「とても楽しく、具体例を出していただいたので、わかりやすかった。」と、複数の方から似たようなご意見をいただいております。

地区委員会アドバイザー派遣を活用してみて、アドバイザーとの事前打ち合わせでは、こちらの要望に対してどのような話ができるか具体的な提案をしていただき、当日のイメージができる打ち合わせが行われて、とても良かったです。講演会を通じて、会議のあり方や地域に向けた PR 方法など、青少年育成委員会で考えるきっかけになり、新しいことを前向きに考えていただけたのではないかと考えています。また、後日ユーチューブで限定公開をしたことで、当日参加できなかった方が視聴でき、地区青少年育成委員会で活用できたことは、新しい手法に馴染んでいただく良いきっかけになりました。

今回この東京都事業の地区委員会アドバイザー派遣事業を利用してとても良かったと考えています。今後も機会があれば、ぜひ活用していきたいと思います。以上で新宿区の発表を終了します。ご清聴ありがとうございました。

○地域活動推進担当課長

ありがとうございました。続きまして江戸川区様よりご報告をお願いいたします。

○江戸川区生活振興部葛西事務所

本日は貴重なお時間をいただき、誠にありがとうございます。私は江戸川区生活振興部葛西事務所地域サービス係で青少年育成葛西地区委員会の事務局を担当しております横山と申します。よろしくをお願いいたします。それでは青少年育成葛西地区委員会にて地区委員会なんでもアドバイザー派遣事業を活用した経緯と、その成果についてご説明させていただきます。

まず、前提としまして、地区委員会は研修部、青少年部、スポーツレク部、広報部の四つの部に分かれて活動しております。そのうち研修部の事業の一環として、本事業を活用させていただきました。当地区委員会では、該当管内の小中学校の生徒を主な対象者として事業を行っておりますが、近年、子供たちの参加者が減少傾向にありました。また、新型コロナウイルス感染症の影響で地区委員会活動ができなかったことで、地区委員会の活動自体を知らないという人が増加しているとの懸念がありました。一方で事業ができないということで、これまでの活動について、見直す時間ができ、なんとかしてより多くの子供達のためになりたいという声がありました。そこで、参加者を増やすために知っておきたい PR のコツや事例を通して企画づくりのヒントを考えることを課題としまして、

本事業を利用することに決定いたしました。

講演では広報とはそもそも何なのかということや、さまざまな広報の手段やチラシ作りのポイント事例を参考に、子供たちが参加したくなる企画づくりのヒントを学びました。

その中で、子供やその家族に地区委員会のイベントに参加してもらうには、どのようにしたらいいのか、現在の広報の仕方に問題はないか、グループワークを通して、皆さんで考えまして、実際に子供たちが参加したくなるような企画について意見交換を行ないました。講演の中で広報の具体的な意味について、多くの人たちと良い関係を築く、団体のことを他人に理解してもらい、共感や協力を得ることと、講師の方がおっしゃっておいりました。相手はどんな人で何を求めているのか、自分たちは何者で魅力はどこにあるのか、これらについて、「相手の目線になって考える」ということが、広報を行う上で非常に重要であるということを知りました。

講演後、学んだことの中で何がアウトプットできるのか皆さんで考えた結果、まずは普段の広報の仕方から見直す形となりました。スライドの左上にある、チラシは、令和元年度のチラシでございまして、右下にある方が令和四年度のチラシとなっております、講演後、作成をさせていただきました。まず、イベントを行う際に該当管内の小中学校や町会自治会に配布する。チラシを相手、つまり、子どもやその保護者の目線になって作成してみようということになりました。まず、タイトルに関しまして、参加するメリットが感じられるようなものに変更いたしまして、より参加意欲が得られるようにしました。また、新たにリード文を設けることで、地区委員会がどういう意図でこのイベントを開催しているのか、イベントを通して伝えたいことを示して、よりイベントの魅力を感じてもらえるようにしました。また、過去に開催した際の写真と団体の説明を加えることで、実績のある安心できる団体が主催しているということを伝えられるようにしました。

このようにイベントの広報チラシを参加してみたいと思ってもらえるようなタイトルにしたり、葛西地区委員会がどんな活動をしているのかわかるようにした結果、今年1月、2月のイベントでは、多くの参加者を集めることができました。またイベントごとに右側にあるようなアンケートを子供たちに回答してもらい、子供たちのイベントに対する感想や、今後やってほしいイベントについて情報収集を行ないました。以上のように地区

委員会なんでもアドバイザー派遣事業を利用したことで、地区委員会の方々のみならず、事務局である職員も含めて、どうしたら子供たちの参加率を上昇させることができるのかということについて、積極的に考える機会を得ることができました。

今週の日曜日、7月2日には、子供たちから要望がとても強かったサイエンスショーを、新たな事業として開催する予定となっております。今後もより参加したいという気持ちをかき立てるような広報やイベントを企画できるよう協力していきたいと思っております。本日はご清聴ありがとうございました。

○地域活動推進担当課長

江戸川区様、ありがとうございました。今回は、地区委員会活動に関する情報提供を中心にさせていただきましたが、地域で活動される皆様におかれましては、地域活動の担い手の集め方であったり、イベントの効果的なPRのノウハウなど、発表内容をご参考にいただければ幸いです。

今までの内容についてご質問のある方いらっしゃいますでしょうか。ご質問のある方は、挙手ボタンを押してください。こちらからの指名がありましたら、ミュートを解除し、マイクをオンにしていただき、所属とお名前をおっしゃった上でご質問をお願いいたします。

続きまして、意見交換に移ります。本会議を行うにあたりまして、事前アンケートで皆様に二点お伺いいたしました。一つは、地域活動の担い手の確保開拓について、また二つめは、地域活動を長く続けていくためのポイントについて、皆様が工夫されていること、また工夫したら良いと思っていることについてお伺いいたしました。皆様が日頃取り組まれていることへ感じていることなど含めまして、ご意見等ございましたら、ぜひお願いいたします。ご意見いただける方いらっしゃいますでしょうか。それでは東京商工会議所様お願いいたします。

○東京商工会議所

東京商工会議所の山本です。私たちが力入れているプログラムの一つが「東商リレーションプログラム」です。東商は中小企業を主とする団体で、大学生や専門学校の方に、都内の中小企業を知る機会が少ないため、中小企業の役割や働きがいなどを身近に感じてもらうために実施しています。大学と連携をして、都内の中堅中小企業を学生が実際に訪問

し、経営者や社員と対話し、社内を見学するというプログラムで5年以上続けています。

また、司会の方からありました、地域活動の担い手の確保、開拓と長く続けるポイントという指摘を受け自分なりに考えました。少し広い視点から申し上げますと、森記念財団と都市戦略研究所が公表する世界都市総合ランキングで、東京はこれまで3位を維持してきたのですが、その一方でシンガポール、上海、ドバイといった新興都市が追い上げています。2030年には東京の人口もピークを迎えて減少する。こうした状況を踏まえ、東京商工会議所では、将来に渡って、東京という都市がさらに成長していくためには何が必要かを考えています。その中で重要なのは、一つ一つの地域がいかに活性していくかということです。地域に根ざす中小企業と、地域の住民、また自治体の方々とともに地域の魅力を発掘して発信して行くことが重要ではないかと考えています。特に東京23区地域にある生活文化、例えばサブカル、伝統芸能、まちづくり、ものづくり、スポーツでも構わないのですが、こうした地域資源を活用していくことが何よりも重要です。さらに、担い手となる、青少年をはじめ地域住民の方がいかに自分たちのこととして、自分たちの“まち”を良くしていき、地域に多くの方が訪れ、ビジネスが生まれ、さらなる交流が生まれる。このような好循環を創り出していくことが重要だと思います。

大きな観点で申し上げましたが、自分自身の経験を振り返ってみると、何よりも企画する事務局自身が活動を自分たちのこととして捉え、企画を考えて楽しむことが重要だと思います。集客や内容がうまくいかない時は、事務局が真面目に考えすぎてしまって、仕事として前例踏襲や型にはめてしまう。こうした進め方では活動の面白みや楽しさは生まれません。前例にとらわれず自由に発想して、今回のプロジェクトの目的を常に念頭に置きながら、企画する事務局自身が楽しめるぐらいの雰囲気に取り組んでいくことが、結果として、運営する方、参加される方の双方に喜びを感じていただくことができると思います。また、そうした企画、プロジェクトであれば環境の変化に適応しながら進化し、結果として長く続くと考えて取り組んでおります。私からは以上です。

○地域活動推進担当課長

東京商工会議所様、ありがとうございました。ただいま地域の活性化に向けましては、中小企業や住民、町会の自治会の皆様、そういった地域の皆様の連携が大事、また地域資

源の活用といったキーワードもいただきました。そして、事務局自身の方々が楽しみながらイベントを実施する。そういったことの大切さということについても、ご意見として賜りました。ありがとうございました。

その他ご意見いただける団体はございますか。それでは僭越ではございますが、私からもう一団体指名させて頂ければと存じます。一般社団法人ガールスカウト東京都連盟五十井様いかがでしょうか。一つ目は地域活動の担い手の確保開拓について、また二つ目は地域活動を長く続けていくためのポイントについて工夫されていることなどを、ご意見やコメント等伺えれば幸いです。

○ガールスカウト東京都連盟五十井連盟長

はい、五十井と申します。どうぞよろしく願いいたします。この度、5月の総会で初めて東京都連盟の連盟長に就任させていただきまして、今、本当に皆さんの中で活動する人たちがなかなかなくて、やってくれる人が本当にいない、ということをしごく感じているところです。

私は、小学校三年生のときにガールスカウトに入りまして、現在まで50年以上スカウトに関わってきているんですけども、高校を卒業してからリーダーの資格を取って指導者になって、リーダーになってからの方がスカウト時代よりもとても楽しかったです。楽しいから今まで50年続けてこられたんだなと思います。大変なことがあっても楽しい、それがやっぱり一番なのかなと思います。楽しまなければ誰もやりたいとは思わないし、お手伝いをして楽しかったらまたやってくれる、そういう信念でやっています。

子供たちの会員募集については、見せるということを大切にしているんですけども、支える大人たちについては、本当にこれを念頭にいつもやっています。とにかく楽しく無理をしないということだと思います。いろんな活動する中で、楽しそうにやっているから、仲間になってみたい、そんなふうに、東京都連盟の運営もして行きたいなと思っています。

あと私が好きな言葉は、「一人の百歩より百人の一步」ということで、それをいつも目指しています。関わると大変って思ってしまうのではなく、ほんの隙間の時間でも良いし、得意なことを得意な人がちょっとの時間で、たくさんの人に関わってもらってやっていく

ことで、大きな力になっていくと思います。でも、それをすると、責任を持っている人は誰なのか、いろいろあって、責任を取る人っていうのは一番大変になるということも事実なんですけれども、でもそうやって少しでも関わってもらうことで、人を育てていくことにもつながっていくと思います。子供のときからリーダーになったら楽しいよっていうことを伝えているので、大体の子供たちがリーダーになってくれるんですけれども、今の若い人たちは単なるお手伝いだと、もう自分が行かなくてもいいかなっていう気持ちになってしまう部分もあります。ある程度任せることも大事で、あなたにここの部分任せるからねっていうことで任せてみる。で、褒めてあげる、失敗をしても大丈夫、それはまた次の成功につながるんだよ、ということを伝えながら、若い人たちもどんどん楽しくやってもらえるようにしていっています。で、私たちはやっぱりある意味、口をあまり出さないっていうことも必要だと思っています。見守ってあげて、若い人たちに力をつけてもらえるように育てていけたらいいなと思っています。

最後にパワーポイントを共有してもいいですか。これはガールスカウト日本連盟の前会長の言葉でもあるんですけれども、数学的なことはよくわからないんですが、ベクトルの法則だそうで、「私の力」、「君の力」、「あなたの力」といってみんながバラバラの方向を向いていくと、これだけの範囲しかできないんですけど、少ない中でも、「私の力」、「君の力」、「あなたの力」が、同じ方向を向いて、同じ目標を持って目指していくことが大事だということで、このことを頑張ってやっていきたいと思っています。以上です。ありがとうございました。

○地域活動推進担当課長

ありがとうございました。ただいま長年のガールスカウト活動のご経験の中で、活動が長続きしていくためには、楽しさであったり無理をしないということ、また隙間時間や得意なことを得意な人に活躍してもらおうといったお考えであったり、後進の育成と申しますか、若い人の活動を見守っていくといった活動の考え方についてご意見をいただきました。ガールスカウト東京都連盟様ありがとうございました。

その他、事前にアンケートで回答いただいたご意見をいくつかご紹介させていただきます。地域の活動の担い手の確保、あるいは開拓に関することといたしまして、「地域活動

に子供たちが関わるなど、地域活動とのつながりづくりを行う」、「中学生の地域ボランティアや地域防災訓練等の場を活用する」、「地域と学生によるまちづくりボランティアとの連携に、より工夫した学生、地域活動を展開している」、「地域の他の興味を引くテーマで、小さな単位のミーティングを検討したい」など、連携を軸にした事例やアイデアをいただいております。

また、地域活動を長く続けていくためのポイントとしては、「地域の子供たちを巻き込んだ地域活動の場を提供し、大人になっても地域活動が継続できるような流れを作れたらよい」、「地域関係機関や団体との連携が必要」といったご意見も頂戴いたしました。皆様、貴重なご意見をありがとうございました。

それではお時間となりましたので、令和5年度地域における青少年健全育成推進会議を閉会とさせていただきます。皆様方のご意見を参考にさせていただきながら、私共東京都も地域における青少年健全育成活動の推進に取り組んで参りたいと思っております。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

なお大変お手数ですが、アンケートへのご協力をよろしくお願い致します。本日はご多用のところご参加いただきまして、ありがとうございました。